

巨樹との出会い

《2》志木市の巨樹たち…その3

本間 敏文

さて、前回に引き続き「ケヤキ」について触れていきましょう。

名の由来は、強く美しい材が、他の樹木と比べ目立つことから「けやけき」木とされたようです。

ところで、ケヤキは街路樹として多く植えられていますが、大きくなるので枝を落とされ不格好な形になっているものを見かけますが、本来は、扇形に大きく広がり、美しい樹形をしています。しかし、中には扇状に枝が張らず、垂直に伸びる性質を持つものがあるため、近頃は、街路樹等ではそういう品種が植えられているようです。



【宝幢寺の本堂側のケヤキ】

話は変わりますが、植物の種子の散布方法には色々な方法があります。

散布方法としては、動物散布、風散布、水散布、自動散布等があります。

ケヤキは風を利用して種子を散布するタイプです。写真のように、葉の付け根に種子がつきます。秋になると、小枝の付け根から小枝、葉、種子が一緒になって落ちて、風に吹かれて散布されます。このように、小枝と小さな葉のコストをかけてちょっとでも種子を遠くに散布しようというケヤキの生存戦略が感じられます。

なお、ケヤキの葉には大きいものと小さいものがありますが、種子を付けた小枝は小さい葉です。



【ケヤキの種子】

新型コロナウィルス感染拡大防止為の外出自粛要請を受けて、エコシティ志木の活動もほとんど中止としました。例年5月に行っておりました総会も6月以降に繰り延べて計画しております。98号は、2019年度の活動を纏めさせていただきました。充実した当会の活動をお伝えできたでしょうか。 (青木明雄)

エコシティ志木通信

第98号 2020年6月1日

〈発行〉

NPO法人エコシティ志木

〒353-0006 埼玉県志木市館 1-1-2-108

電話/FAX 048-471-1338 (天田眞)

URL <http://kappa-no.net/eco-shiki/>

E-mail eco-shiki@ff.e-mansion.com